

談話会通信 NO.32

毎次 新入会員内	— 1
自分のページ	— 2
講読室	— 6
絵と歌	— 8

東京のモ談話会

毎日、う、しうし、空模様がいいておりますが、雨のあはまきぬ、この涼爽・快適は、いかがでしょうか。

*本号では、齋藤先生の活動をお祝いしての記念出版に際してのお知らせが載りますのでごらん下さい。

新入会員

- ・齋藤 雅弘さん 〒157 世田谷区祖師谷6-6-1 川水荘1-1号
- ・小林 錠一さん 〒181 三鷹市上連雀7-6-7 玄 0423-73-0857
- ・山本 一博さん 〒110 台東区北1-1-1 音水荘
TEL 03-823-0357
- ・八木沼健夫さん 〒546 大阪市東住吉区東鷺寺町1-138
TEL 06-702-5098
- ・林 秀行さん 〒244 横浜市戸塚区平戸町1384-1-9
TEL 045-886-1308

住所変更

- ・相良 雄一さん 世田谷区下馬5-9-19 湘田荘5号室
- ・後藤 岳志さん 〒903 神奈川県那覇市首里大中町1-19 今井荘
- ・内田 善悟さん 〒939-12新潟県燕市大字灰方、県立燕高等学校

夏の観察・採集会 7月27日(日)

前回、春の観察・採集会をさながら通り抜けのアマヤドリ逃げ
できました。無理も少々、で済みたべさへ。

- ・日時 7月27日(日) 13:00 開始
- ・集合場所 京王線・高尾山口駅前
- ・起點場所 高尾山
- ・持ち物の 屋食・迷路図用具



*雨天・決行

*新宿方面から来られる方は京王線へ方が便利、どうぞ。

（齋藤先生）新海 葉一 0423-21-0282 遊招更己 03-744-0063

自分のページ。 みんなのページ。

鈴木 勝浩さんより。

・横浜市民の森のクモ。

1980年4月20日、午前10時に京浜急行・金沢文庫駅に集ま。2人（私と佐藤幸子さん）は横浜市民の森の一部を歩きます。次の60種のクモを採集することができましたので、御報告します。（クモの配列順は不同あります。成体のみ♀ad or ♀adと記しました。）

・ユノハマサラゲモ♀ad・ハラビロミドリオニゲモ・オトヒビゲモ・シロカネイソウロウゲモ・ナルオミダニゲモ♀ad・スネグロウゲモ♀ad・トガリアカムネゲモ♀ad・ムナボシヒメグモ♀ad・ネコグモ・フタオイソウロウゲモ♀ad・バラギヒメグモ・ヨツデゴミグモ・メガネアザヒハエトリ・カレハヒメグモ♀ad・ウラシマグモサナガ・ヘリジロカラグモ♀ad・グモ・オニグモ・ジョロウグモ・コジオウイロハシリグモ・コジアカムネグモ♀ad・ゴモ・アズチグモ・ネコハエトリ♀ad・オオヒハエトリ♀ad・ヨダニエトリ・ハンゲツオスナキシグモ♀ad・センショウグモ・アオニグモ♀ad・ヤマソロオニグモ・シャコグモ・アサヒエビグモ・シボグモ・オオシワカネグモ

・アシナガグモ・ヤクモアカフキグモ・ササムナハグモ・ヤタケモガモ・モゲモ・ヤマトモトコモ・リグモ♀ad・イズツグモ・カラフトコモ・デニッツサラゲモ♀ad・エキスハエトリ・アリグモ・オスクロハエトリ・ハリゲコモリグモ♀ad・*Lycosidae* sp. · *Pirata* sp. · *Dictynidae* sp. · *Uloboridae* sp. · *Clubiona* sp. · *Argiope* sp.

この他1つの鳥の巣の中に、アサヒエビグモ、メガネアサヒハエトリ2、ネコハエトリ、*Clubiona* sp. 2、ネコグモ4、ウラシマグモ3、カレハヒメグモの計14個体のクモが入っていました。

これからも月1回の割合で、このようほ孫衆会を行っていこうと、見ておりますので御都合のようしあ方はお楽しみにおこして下さい。

・小澤 實樹さんより。

6月第一週登場の「週刊現代」より。

山川守さんの記事が載っておりました。「実業の日本」に続いて2つめです。

新サイフ事情

山川守氏(28)忠實屋秦野店
神社販主任・月給手取り100万円・小遣い3万円。

無駄はいやだ。
ぼくは酒もタバコもやらない

前月持続する事ない。妻かはソラウエアの事に心配はない。
妻は女食器を置いた所で、夫は玄関へ出た。
妻は玄関へ出た。

丹溪行述

圖標本六千個

能復與其子同處乎？

新編古今圖書集成

た研究、貯蓄も立派な新規はござりません。金の貯蓄は、月に二万円でござります。この金は、毎月の賃金の二分の一を貯めています。この金は、毎月の賃金の二分の一を貯めています。

▶ 松本誠治さんより

最近読んだ小説中の「つま」の記事を紹介します。

又車^{アサ}にて一におび神^{ミコト}お細^{スナカ}い^シ幕^{マツタケ}、特^ハ名典^{タガタ}神^{ミコト}のなく^ハ18に^ハ、^ハ価^ハうう人^ハ知^ハ
ル文^{アマガシ}P出^ハオうての女^ハで纏^ハて少^ハ海^ハは、^ハ辟^ハキニ^ハテ^ハつ^ハ。謡^ハン^ハ歌^ハ、^ハか^ハと
エ川^{アマガシ}がレ^ハ、^ハに^ハ、^ハ5^ハ、^ハい^ハのを類^ハで呼^ハ学^ハ。クリ^ハす。山^ハも^ハのし^ハウ^ハ説^ハ系^ハ
テ角^ハで^ハ、^ハこ^ハい^ハな^ハ状^ハはたの^ハ、^ハ5^ハ、^ハる^ハ虫^ハ物^ハは^ハ、^ハア^ハリ^ハ、^ハウ^ハ前^ハら^ハカル^ハ、^ハ小^ハ体^ハう
ル里^ハ（年^ハ）このひに發^ハにル^ハど^ハが、^ハ一^ハ極^ハ鈍^ハ古^ハ生^ハ死^ハがア^ハせれ^ハ。一^ハ和^ハ彼^ハ！^マう^ハな^ハ類^ハい^ハ在^ハ
る^ハの類^ハ、^ハ状^ハ鐵^ハ端^ハバ^ハほ^ハ。オバ皮^ハの波^ハク^ハ、^ハか^ハと^ハた^ハダ^ハへ^ハる。ラ^ハみ^ハう^ハ分^ハと^ハ一^ハ
虫^ハで^ハ捨^ハも^ハ采^ハい^ハさ^ハし^ハす^ハ蘚^ハの岩^ハ、^ハ上^ハと^ハ縫^ハみ^ハれ^ハや^ハ比^ハケ^ハす。「^ハか^ハよ^ハの^ハる^ハ」
ユ^ハ万^ハ19^ハ978^ハ虫^ハ、^ハ19^ハ15^ハオ^ハ穢^ハい^ハ纏^ハで^ハ、^ハう^ハな^ハか^ハま^ハ、^ハ(ア^ハい^ハる^ハ)^ハ続^ハシ^ハン^ハあ^ハま^ハ、^ハ1^ハの代^ハき^ハい^ハ
ジニ^ハ、^ハク^ハ。つ^ハま^ハの^ハげ^ハ縁^ハり^ハの^ハい^ハ觸^ハり^ハす。で^ハす^ハし^ハに^ハ表^{オト}に^ハき^ハ物^ハに^ハこ^ハ時^ハで^ハ遇^ハ
感^ハ版^ハテ^ハだ^ハに長^ハニ^ハ、^ハ防^ハる^ハあ^ハこ^ハで^ハ腹^ハ性^ハ。だ^ハら^ハく^ハう^ハ發^ハフル^ハ時^ハで^ハり^ハ。の^ハが^ハく^ハ
は^ハ海^ハ15^ハア^ハし^ハ形^ハく^ハじ^ハき^ハア^ハと^ハま^ハと^ハは^ハん^ハ、^ハ着^ハう^ハ560^ハ、^ハか^ハ美^ハよ^ハに^ハエボ^ハ多^ハ像^ハう^ハ、^ハ伏^ハせ^ハと^ハし^ハ
第¹「ま^ハの^ハそ^ハ、^ハゆ^ハう^ハて^ハが^ハ、^ハ1^ハ呼^ハ錦^ハ固^ハを^ハ、^ハ華^ハば^ハる^ハ等^ハビ^ハ、^ハ想^ハル^ハウ^ハ、^ハニ^ハわ^ハ
に^ハハ^ハル^ハ、^ハほ^ハり^ハて^ハ、^ハさ^ハき^ハる^ハ前^ハと^ハ海^ハに^ハ、^ハ」文^ハう^ハれ^ハ、^ハは^ハづ^ハれ^ハが^ハマ^ハく^ハで^ハも^ハる^ハう

他の1つは、小松左京の「復活の日」(角川文庫、第27版、1980年)で、P.106とP.107にて
アメリカの生物兵器として

外としても、「クモ」でも気が
をつけた方がいいことが、いい
立場あるようです。

再び 松本誠治 さんより

► 永浦祐司 さんより。

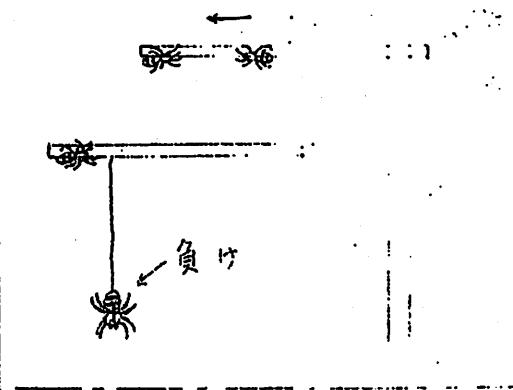
ウモ合戦テレビで放映

時10
魔が
戦ね。ゲ3の台力といた
前まで合し、が数るうを竹ま
午3ヶ月、ゲの之役よて
曰ごのさは、ち行ひで事にりし
4行町映モる間一上行話降
月15木放クの昼や。のて
7月19治でう人はの)が、方りて
年が加。使1合次場すうひ
1980年3月PMに試合でいと
分児3県P.M.戦早と、試のと糸
合モ頭、こくすん。

まコガ、豆ニ朝裔人ヨ依の近所樂幾障廟、理駁説リに、
ハ、蘭工大コ北ヒ説リ達て難が成ハ保()、と実のメ月ア、
テ蘭病ハ、コたは強がニ学コ研究のと刊了メ日ア、9ニと
出病游、ネモテ、れ本か議つ位ス研ハ位ニ月あ體日モとジタ
が痘黒モハウシテのし乞に置ネ、ラ地タ(テ矢6ニ月一
と茶、クのトニ仰ニ分術方(ユ由)ニ、1月と物年面々バ行、
ニ肺菌、鷄着散。氣学めリ、自齧者ニ月ニ生80又年、
た; 病ミ、禁行ヘタは、追々)の累究行年は、1983ド州ビ
れ菌斑ノリハ蝶部ルヤがの1973義の研を要()、1974ニ各ま
わト漢、ゲジキ北五ハ、公表()、告重しは、刊()、うのり
便ス、ミでカド國ハ、し研登、の野由効、まで()が、一タホ
が、や菌ズハ、ほ中てとで學去()累分角の陽が、れい間單リソが
モ。チネ、葉實、れん工解53成化ヒヒ新どさつ新隆メネ等
クす。し、力の鮮かだセ子見、究の亥年日な解に先古、ニ記

「ウモ」については、最近ペットとしてよく飼われている *Dugesia*-*anax* の口器には、人間の病原菌となる *Aeromonas hydrophila*, *Staphylococcus aureus*, *Pseudomonas aeruginosa* をはじめ 10 数種の細菌が付着しているという報文があります。 (McCoy, K.H. & D.R. Clapper (1979). The oral flora of the south Texas tarantula, *Dugesia*-*anax* (Araneae: Theraphosidae). *J. med. Entomol.*, 16(5): 450-451).

り、逃げてしまふと負けだとう
です。



(勝黒の印) 原→小下島でたかは通を念さを贊て(に)生文るの
木目り糸 鉛で雲へ。雲→(日の大順) 参すづ記出号員と半輪ハ氏
東浦林→(日のか代)ま集つ稀提念全闇こもて勝
が、すゑた介、松→(藤)はの編と古が記はにうは鑑定え木
が、五う27-1紹橋齊近佐乎略れ茎部IA告生題稀て等ばく略ヒ考鉢
会に、ざま己高→一→一称ラのヘDAIA報先議古し察し(き)度は
例説で、うれ自→良本川(敬来次後)の島る、対内住たはの度は
月15日会世館わゆの勝相山谷野中吉午KISHれ薦す果に、一して礼程演
話の会行例本→大元前よき、関越とれにま会おツ難
6月談氏民みき恒鈴田海地→東午采い計れりにひこせ貢し興
蜘蛛元已もだは→嶋新佐間一古よ会もよ版議る決委た委縫
る蜘蛛貞橋→た中林→伊波家れい集局出討す可行い特業150で
去京大處い前梅沼田→約わ本れ会縫榜さ版で対応灾でう
東氏已丸を呼蓮熊次部→行船さ總信事号れ出成は決。記等よ

「ウツギコモリグモが生活史を
中心とした生態研究」。

「ウモ」の標本のつぐ展
示あり方用標本。

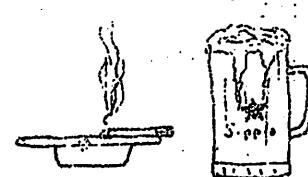
蓮沼氏の「アリゲモの令判定方法の一方法」(牙提歯を基準として)。

松浦氏の「ジグザグの新裡アオツタグモ、アオケロコモアンド映写」。

黒原氏の「クサゲモの体験に
ついて」。

前盤6.の「ひといふて」で、
て（主にコサテグモ）。

以上のお講演があり、つづいて「記録」入て) 梅沼了の店舗を
「映写会」も終て懇親会まで行なわれた。終了後は開東相川
水曜会・秩父出陣の入った洞穴へ人で行き、終始花火を燃えさせた。
この日は高木より講演があり、花火の打ち上げの際には、洞穴へ入る
林・松浦・上義・山田・吉田の映画が上映された。この映画は、松浦の「
例会」と題して、林の「熊浦」、吉田の「上義」、山田の「山田」、吉田の「
山田」である。



談話室

・萱嶋 泉先生古稀記念のこと。

6月15日の本会例会時の総会で、本会代表の萱嶋泉先生の古稀（来年8月）を記念して、先生の古稀記念会誌の発行を本会で行なうことが承認されました。

本会は萱嶋先生の呼びかけで、当時先生の元に集まっていた私達がつくった会で、先生の古稀をお祝いし、その記念誌の発行を本会が行なうのは、全く自然であります。しまに先生も喜んで下さるものと思います。

記念誌を独立した1冊のものよりも、KISHIDAIAの1号（あるいは2~3号）を当てる方が、本会を離れて下さった先生にふさわしく、一番喜んで下さることと思います。このためページ数を大幅に増え、また従来のKISHIDAIAとは体裁が若干異なることになるかもしれません。

会員の皆様には、先生へのお祝いのお言葉等をいただくことをお願いすると共に、記念誌発行について資金面でのご協力をお願いすることになるでしょう。

詳しくは、いずれ別便にて趣意書と依頼状をお送りいたしたいと思います。その折は宣しくお願い致します。

なお、本会規約に沿って、萱嶋先生古稀記念のための実行委員会を発足させました。メンバーは以下の通りです。（ABC順）

古東隆・熊田憲一・国見裕久・歌原輝代子
松本誠治・松浦祐司・小澤賛樹・貞元己良

鳴田順一・新海榮一・鈴木勝浩（以上11名）

実行委員代表・松本誠治

・会計局だより

郵便振替・東京7-74885

先の通信№.31でお知らせいたしましたように、今年度よりこの場をもちまして会費の受領報告をいたします。領収証の発行につきましては現金納入の方と郵便振替納入の方で希望される方に発行いたします。通勤郵便振替の場合は郵便局で発行する現金化領収証をもって領収証に替えさせていただきます。

今回は業務上の手間から全員共に振替用紙を送りましたところ、何人の方に御迷惑をおかけする結果となりましたことをお詫びするとともに今後御迷惑をおかけするようなことがないよう注意いたします。

受領報告

A. 54年度中に受領

55年度：浅間茂・梅林力・大野経明・小澤嘉樹・貝谷憲治
 川辺さゆみ・国見裕久・熊田憲一・小松敏宏・樋田重雄
 近藤昭夫・佐藤幸子・須賀瑛文・高林千代子・日大三農生物部
 蓬沼克巳・藤井鶴浩・古内栄一・古浜勝・松本誠治
 渡辺好章・多冢かある。

56年度：古浜勝。

B. 55年度(55.4以降)受領

54年度：吉川伊智郎

55年度：塙原啓一・中平清・藤井悦子・林俊夫・鷹田暉一
 大辻桃源・佐久間良三・大沼一富・千葉安元輔
 吉谷昭聰・日下部光代・栗原輝代子・大瀬正久
 西川翠湖・大庭千代子・高野伸二・八木沼健夫・吉倉真
 獅屋英彦・大野正秀・町田龍一郎・眞元己良
 福本伸男・片山佐木郎・利田既・石山鉄幸・立花章
 長嶋忠義・喜波洋平・林秀豊・河又和夫・大久保慶
 吉川宇智郎・浦越雅弘・小林健一・山水一博・新井栄一
 松浦裕司・伊佐地和行・鍛木勝浩・稻垣淳一・谷川明男
 近藤恭子・古浜美子・早乙女薰・相本幸一・内田善雄
 神子島義

56年度：須賀瑛文・蓬沼克巳・小松敏宏・菊屋奈良美
 日大三農生物部鈴木玲子

御寄付：中平清氏・大辻桃源氏・菊屋奈良美氏

例会にあわせて懇親・アリコールをあわけした代りに御寄付をいただきました。

〒190-11

(会計につける御質問・御意見は会計局まで)西多摩郡羽村町羽1448 熊田憲一

伝言板

白甲鑑先生より

日本の皆さんへ依頼があります。

ヤドカリグモ(ヤマトヤドカリグモではない)の標本(日本産)をみせてもらいたいとの事です。すぐに標本からとり出せる方、すぐに採集できる方は是非送ってあげて下さい。

宛先「韓国大邱市中区
西也洞20」です。

宣いく(松本)

けいじ板

談話会より

来る 8月1・2・3日(金・土・日)
の3日間 暫例の宿泊が行かれます。

場所は、当初 塩嶺高原と予定されていましたが宿の都合で富士に変更され、宿は富士屋温泉旅館の予定、はっきり決定しましたら皆様に御連絡いたします。

皆様ふるて御参加下さる様おねがいします。

(運営委員会)

便り板 P.11 V

31号予告でお知らせいたが、本人よりもう少しの間公表しないで下さいとの事。結構適齢期の方です。

だれでしょう。

来る 8月23・24日(土・日)
と2日間にわたり東亞蜘蛛学会
東京大会が八王子の私学
教育研究所で開催されます。
談話会員の方で学会に入会されていな
い場合でも出席してみてはいかがですか。

そろそろ梅雨が明ける時期と
なり、東洋の近畿地方が目まぐ
くシゲラシな。てまであります。山へ
ようやく夏です。皆さん野山へ
出掛けで観察し、記録
を送って下さい。(編集)

31号で松本さんより「耳へた中止
で島さん、31号を記録を送ります。
入ま蟹だいこを送ります。」
(編集)

(後記)

32号がやっとできあがりました。
評判が良くあせんせましたので、本巻
はファックスで行きました。
いかがでしょうか。

東京ケモ談話会 — 通信 32号 —

本部

〒191 立川市野市豊田1896
董事 長方 151-0425-81-7125

編集実行委員会

〒191 立川市野市中原町新宿612

松浦祐司 044-422-2842

1980年 7月12日 発行